

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 3 月 27 日(2025.3.27)

【公開番号】特開 2024-112160(P2024-112160A)
【公開日】令和 6 年 8 月 20 日(2024.8.20)
【年通号数】公開公報(特許)2024-155
【出願番号】特願 2023-17047(P2023-17047)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 18 日(2025.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

主制御手段を有し、

遊技媒体数制御手段を有し、

遊技媒体数制御手段と貸出しユニットとの通信状況として、第 1 の状況と第 2 の状況とを有し、

第 1 の状況は、遊技媒体数制御手段と貸出しユニットとが通信可能な状況であり、

第 2 の状況は、遊技媒体数制御手段と貸出しユニットとが通信できない状況であり、

第 1 の状況にて精算スイッチが操作され主制御手段が遊技媒体数制御手段に精算に関するコマンドを送信する送信処理を実行し、第 1 の状況にて遊技媒体数制御手段が精算に関するコマンドを受信する受信処理を実行した場合には、主制御手段は精算処理を実行可能とし、

30

第 1 の状況にて精算スイッチが操作され主制御手段が遊技媒体数制御手段に精算に関するコマンドを送信する送信処理を実行し、第 2 の状況にて遊技媒体数制御手段が精算に関するコマンドを受信する受信処理を実行した場合には、主制御手段は精算処理を実行しないことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。

本発明は、

主制御手段（主制御 CPU 510）を有し、

遊技媒体数制御手段（メダル数制御 CPU 520）を有し、

遊技媒体数制御手段と貸出しユニット（200）との通信状況として、第 1 の状況（V L 信号がオンの状況）と第 2 の状況（V L 信号がオフの状況）とを有し、

50

第 1 の状況は、遊技媒体数制御手段と貸出しユニットとが通信可能な状況であり、
第 2 の状況は、遊技媒体数制御手段と貸出しユニットとが通信できない状況であり、
第 1 の状況にて精算スイッチが操作され主制御手段が遊技媒体数制御手段に精算に関する
コマンドを送信する送信処理を実行し、第 1 の状況にて遊技媒体数制御手段が精算に関する
コマンドを受信する受信処理を実行した場合には、主制御手段は精算処理を実行可能と
し（図 104（1））、
第 1 の状況にて精算スイッチが操作され主制御手段が遊技媒体数制御手段に精算に関する
コマンドを送信する送信処理を実行し、第 2 の状況にて遊技媒体数制御手段が精算に関する
コマンドを受信する受信処理を実行した場合には、主制御手段は精算処理を実行しない
（図 104（2））
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50